

報道関係社各位

TBM と神戸市、プラスチックごみ削減に向けて
ペットボトルキャップを用いて製造された CirculeX 素材の指定ごみ袋を店頭で販売
～ペットボトルキャップ 15 万個回収、再生プラスチックの原料を市内のプラスチックごみから資源循環～

株式会社 TBM（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、神戸市と市内のプラスチックごみ削減、サーキュラーエコノミーの社会実装に向けて環境配慮型の指定ごみ袋の製造・販売を行う実証実験を実施しています。2021年2月5日（金）より期間限定で使用済みペットボトルキャップなどを再生利用した素材「CirculeX（サーキュレックス）」を用いた指定ごみ袋の店頭販売を開始いたします。

■本実証実験について

本実証実験は、神戸市民及び神戸市内の企業の皆様から回収したペットボトルキャップやストレッチフィルムなどを使用して、指定ごみ袋を製造・販売することを目的としています。製造される指定ごみ袋は、国内プラスチック再生材料を 98% 使用し、海外で製造されている石油由来プラスチックを 100% 使用した従来品と比べて約 50% の CO₂ 排出量削減*を実現することが可能です。

2月5日（金）より期間限定で「市民みんなでペットボトルキャップを集めて作る指定ごみ袋」の店頭販売を開始いたします。神戸市在住のイラストレーター有村綾さんデザインのパッケージが目印となります。

なお、当該実証実験は、Urban Innovation KOBE の事業として取り組んでいます。

※株式会社 TBM 調べ。株式会社ジャパックス従来品比（海外製造品）。仕様や製造条件の変更に伴い CO₂ 排出削減見込みも変化します。



■「市民みんなでペットボトルキャップを集めて作る指定ごみ袋」について

神戸市民、協力企業の皆様のご協力により、目標としていたペットボトルキャップ 15 万個（ごみ袋 5 万枚の製造に必要な個数に相当）が集まりました。原料となる使用済みストレッチフィルムも市内の工場等から調達し、市内プラスチックごみの資源循環による製造が実現しました。（製造協力：株式会社ジャパックス）

<ポイント>

- ① ペットボトルキャップを 1 枚あたり約 3 個使用
- ② ペットボトルキャップを含む国内プラスチック再生材料を 98% 使用し、国内で製造
- ③ 石油由来プラスチックを 100% 使用した海外で製造する従来品と比べ、約 50% の CO₂ 排出量削減を実現

<材料構成> 使用済みペットボトルキャップ（うち約 30%）、ストレッチフィルム（うち約 70%）

<袋の種類> 神戸市家庭用指定ごみ袋 燃えるごみ（45L・10枚入り、平袋）

<袋の特徴> 色、厚み、強度ともに従来品とほぼ同等。再生材料を使用しているためやや質感が異なり、柔軟性があります。

■店舗販売について

- <販売場所> 市内ダイエー、光洋、生活協同組合コープこうべ（一部） 計 44 店舗
- <販売期間> 令和 3 年 2 月 5 日（金）～3 月 4 日（木）期間限定で販売
- <販売価格> 138 円（税抜き、従来品に比べ 2～3 割程度割高となります）
- <販売枚数> 5 万枚（10 枚入り 5,000 セット）

■ お近くの店舗等は市ホームページ、神戸市事業・イベント案内センターでご確認下さい。

- ・神戸市 HP <https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/gomi/genryo/3r/prastic/bottlecap.html>
- ・神戸市事業・イベント案内センター TEL：0570-083330（年中無休 8:00～21:00）

■ 品質に万が一不備な点がありましたら、下記お客様係へお問い合わせください。

- ・株式会社ジャパックス お客様係フリーダイヤル TEL：0120-526527（月～金 9:00～17:00）



店頭掲出ポスター

■「CirculeX（サーキュレックス）」について

TBM は、使用済みプラスチック製品や LIMEX 製品を再び資源として活用する新たなブランド「CirculeX」を 2020 年 7 月に立ち上げました。CirculeX は、再生材料を 50%以上含む素材です。世界全体で高まる再生材料やプラスチック代替素材へのニーズに応えるべく、CirculeX を資源循環を促進する素材として幅広い領域での製品開発を目指し、国内外に展開してまいります。また、使用済みのプラスチック製品や LIMEX 製品の回収を促進する「CirculeX アプリ」のサービスを 2021 年 1 月より開始しました。消費者の皆様は回収拠点にてアプリを通じて「ごみ」を「CirculeX ポイント」と交換することができ、TBM が運用する EC サイト「ZAIMA」や社会貢献団体への寄付として使用することが可能です。

■Urban Innovation KOBE

柔軟な発想や優れた技術力を持つスタートアップと社会・地域課題を詳しく知る市職員が協働して最適な解決手法を見出し、サービスとして構築・実証までを支援する、国内自治体で初めての取り組みです。神戸市が抱える課題テーマを提示し、その課題解決を目指すスタートアップやエンジニア、NPOなどを広く公募。選考により選ばれたチームと市の担当職員が、約 4 ヶ月間協働開発を行い、市民によるテスト利用や市役所業務の中での試行導入、実証実験を通じて、本当に活用される新たなサービス開発を目指しています。

